

取扱説明書

FlexScan® M1700/-R M1700C/-R M1900/-R M1900C/-R

カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。



絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
---	--

	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。
---	---

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば  は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば  は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば  は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000 3-2 に適合しております。

製品の仕様は、販売地域によって異なります。お買い求めの地域の言語にあった取扱説明書をご確認ください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



Copyright© 2005 株式会社ナナオ All rights reserved.

1. 本書の著作権は株式会社ナナオに帰属します。本書の一部あるいは全部を株式会社ナナオからの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 乱丁本、落丁本の場合はお取り替えいたします。販売店までご連絡ください。

Apple、Macintosh は Apple Computer Inc. の登録商標です。

IBM、VGA は International Business Machines Corporation の登録商標です。

VESA、DPMS は Video Electronics Standards Association の商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

NEC は日本電気（株）の登録商標です。

PowerManager は株式会社ナナオの商標です。

EIZO、FlexScan、ScreenManager は株式会社ナナオの登録商標です。

その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

もくじ

使用上の注意	4
第1章 はじめに	9
1-1. 特長	9
1-2. 梱包品の確認	9
1-3. 各部の名称	10
第2章 接続手順	12
2-1. 接続の前に	12
2-2. 接続手順	13
2-3. 2台のコンピュータをつなぐ	15
2-4. スピーカー接続	16
第3章 ScreenManager	18
3-1. 操作方法	18
3-2. 機能一覧	19
3-3. ファインコントラスト機能	20
3-4. 特殊機能	21
第4章 画面調整 / 設定	23
4-1. 画面調整	23
4-2. カラー調整	26
4-3. 節電設定について	28
第5章 アーム取付方法	30
第6章 故障かなと思ったら	31
第7章 お手入れ	34
第8章 仕様	35
第9章 用語集	40
第10章 付録	42
アフターサービス	46

⚠️ 使用上の注意

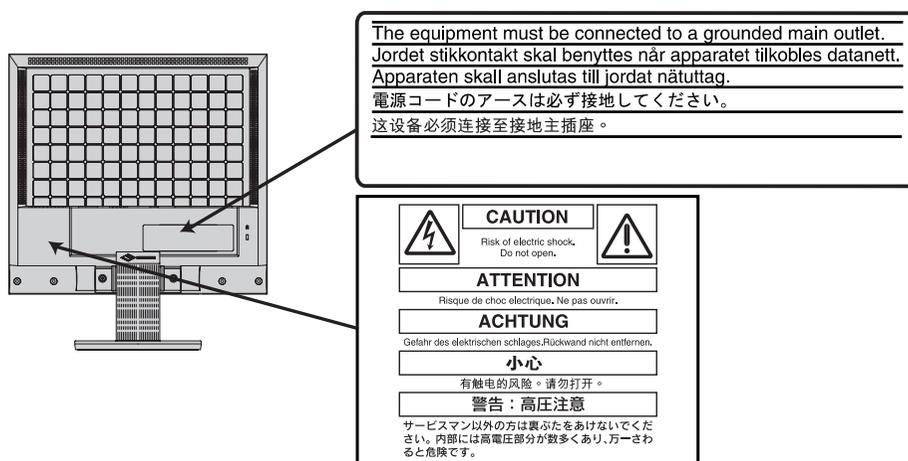
重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】



⚠️ 警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店または
エイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけど
の原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。



修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、
絶対におやめください。

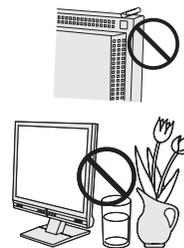


警告

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを100VAC電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

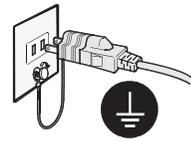
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

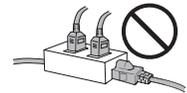
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続
- タコ足配線



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしてしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、本機に付属のネジを使用し、確実に設置する

確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない

もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起す恐れがあります。



注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。



本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ

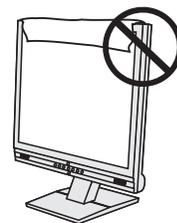
落したりするとけがや故障の原因となります。



通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。



濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。



電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く



液晶パネルについて

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げた状態で使用されることをおすすめします。

画面上に欠点、発光している少数のドットが見られることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、製品本体の欠陥ではありません。

液晶パネルに使用される蛍光管（バックライト）には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

第 1 章 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 2系統信号入力搭載
- DVI (p. 41) デジタル入力 TMDS (p. 41) 対応
- 水平周波数：アナログ信号入力時 24.8～80kHz、
デジタル信号入力時 31～64kHz
垂直周波数：アナログ信号入力時 50～75.1Hz、
デジタル信号入力時 59～61Hz (VGA TEXT時69～71Hz)
表示解像度：1280ドット×1024ライン
- オートアジャスト機能により画面調整が容易
- ファインコントラスト機能を搭載し、用途に応じた画面選択が可能 (p. 20)
- 高さ調整機能付きスタンドによる、自由な高さ調整
- sRGB (p. 41) 対応
- スピーカー内蔵

1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

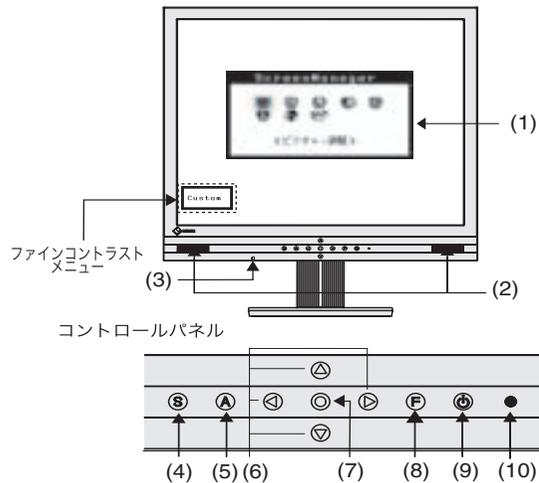
- モニター本体
- 電源コード
- 二芯アダプタ
- ステレオミニジャックケーブル
- アナログ信号ケーブル (MD-C87)
- デジタル信号ケーブル (FD-C39)
… M1700-R/M1700C-R/M1900-R/M1900C-R のみ付属
- 取扱説明書
- 保証書
- アーム (スタンド) 取付用ネジ M4 × 12mm 4 本

参 考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

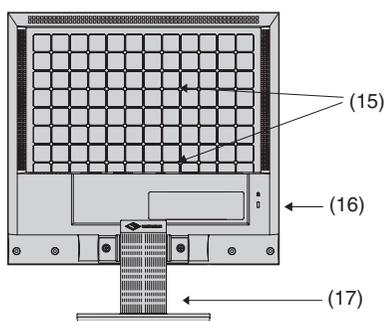
1-3. 各部の名称

前面

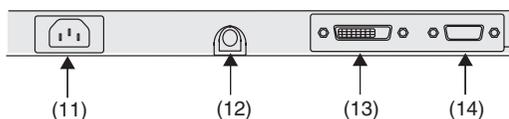


(1) ScreenManager®	モニターの調整メニューです。
(2) スピーカー	音量：左右のコントロールボタンで調整 消音：左右のコントロールボタンで音量調整メニューを表示し、上または下のコントロールボタンを長押しします。 解除するときは左または右のコントロールボタンを押します。
(3) ヘッドフォン端子	ヘッドフォンを接続します。
(4) 入力切替ボタン	2 系統入力をしている場合、入力信号の切替ができます。
(5) オートボタン	アナログ信号接続時に、画面の自動調整をします。
(6) コントロールボタン (上・下・左・右)	調整項目や調整値の選択に使用します。
(7) エンターボタン	ScreenManager を表示します。また調整後、調整結果を確定します。
(8) ファインコントラストボタン	ファインコントラストボタンを直接押すと、ファインコントラストメニューの表示、モードの切り替えができます。
(9) 電源スイッチ	モニターの電源を入切します。
(10) 電源ランプ	モニターの動作状態をあらわします。 青：オペレーションモード 青点滅：オフタイマー (p.21) 設定時間 15 分前 黄：節電モード 消灯：電源スイッチオフ

背面



底面



(11) 電源コネクタ	電源コードを接続します。
(12) 音声入力端子(ステレオミニジャック)	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
(13) DVI-D コネクタ	デジタルケーブルを接続します。
(14) D-SUB15ピン(ミニ)コネクタ	アナログケーブルを接続します。
(15) アーム / スタンド 取り付け穴	本機は、スタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けすることができます。
(16) 盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。
(17) スタンド(取り外し可能)	本機は、スタンド部分を取り外してアーム (別のスタンド) を取り付けすることができます。

第2章 接続手順

2-1. 接続の前に

今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、コンピュータと接続する前に、下表を参照して、必ず本機で表示できる解像度 (p. 40)、周波数に変更しておいてください。

参考

- VGA640 × 480 などの低解像度は 1280 × 1024 に (画面いっぱい) に自動的に拡大され、画像の文字や線がくっきりと表示されないことがあります。このような場合には <スミング> (p. 25) 機能を使って調整してください。
- DDCに対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

アナログ入力をする場合

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
320 × 200	70 Hz	135 MHz (最大)	VGA Graphic
640 × 400	56 Hz		NEC PC-9801 シリーズ
640 × 400	70 Hz		NEC PC-9821 シリーズ
640 × 480	~ 75 Hz		VGA, VESA
640 × 480	67 Hz		Apple Macintosh
720 × 400	70 Hz		VGA TEXT
800 × 600	~ 75 Hz		VESA
832 × 624	75 Hz		Apple Macintosh
1024 × 768	~ 75 Hz		VESA
1152 × 864	75 Hz		VESA
1152 × 870	75 Hz		Apple Macintosh
1280 × 960	60 Hz		VESA
1280 × 960	75 Hz		Apple Macintosh
1280 × 1024	~ 75 Hz		VESA

デジタル入力をする場合

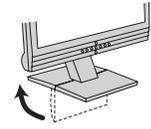
下記解像度にのみ対応しています。

解像度	垂直周波数	ドットクロック	備考
640 × 480	60 Hz	108 MHz (最大)	VGA
720 × 400	70 Hz		VGA
720 × 480	60 Hz		VESA Safe Mode
800 × 600	60 Hz		VESA
1024 × 768	60 Hz		VESA
1280 × 1024	60 Hz		VESA

2-2. 接続手順

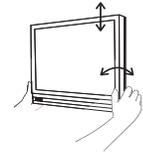
注意点

- 製品を接続する前に、折りたたまれたスタンドを開いてモニターを設置してください。
- モニターとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。



参考

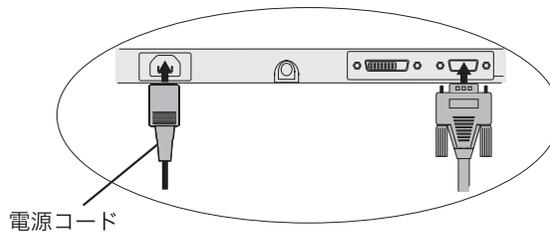
- 高さ・角度の調整について
モニターの両サイドを両手で持って、お好みの高さ、角度に調整することができます。



1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

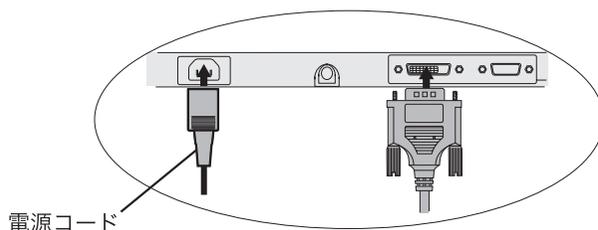
信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

アナログ信号を入力する場合



ケーブル	コネクタ (コンピュータ側)	コンピュータ
MD-C87 (付属) 	ビデオ出力コネクタ / D-SUB15 (ミニ)	<ul style="list-style-type: none">● DOS/V マシン● Power Macintosh G3 (Blue&White)/G4 (VGA)● PC98-NX シリーズ
MD-C87 (付属) +M6A* (オプション) 	ビデオ出力コネクタ / D-SUB15	<ul style="list-style-type: none">● Macintosh <p>*Macintosh 用アダプタ</p>

デジタル信号を入力する場合



ケーブル	コネクタ (コンピュータ側)	コンピュータ
FD-C39/DD200 (M1700-R/M1700C-R /M1900-R/M1900C-R のみ付属) 	ビデオ出力コネクタ / DVI-I コネクタ	<ul style="list-style-type: none">● Macintosh (DVI)● デジタルグラフィックス カード

注意点

- Power Mac G4/G4 Cube の ADC (Apple Display Connector) には対応していません。
- M1700/M1700C/M1900/M1900C にはデジタル信号ケーブルが付属されていません。オプションケーブル DD200 をお買い求めください。

2. 付属の電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。



警告

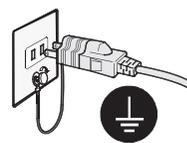
付属の電源コードを100VAC電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内100VAC専用品です。
誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界放射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。



3. 電源スイッチを入れます。

モニターの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
電源ランプが点灯（青色）し、画面が表示されます。

電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第 6 章 故障かなと思ったら」（p. 31）を参照してください。使用後は、電源を切ってください。

参考

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響を及ぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間のモニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休憩を取ってください。

2-3. 2台のコンピュータをつなぐ

本機は、背面のDVI-D、D-Sub15ピン（ミニ）コネクタに2台のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

入力信号の切り替え方法

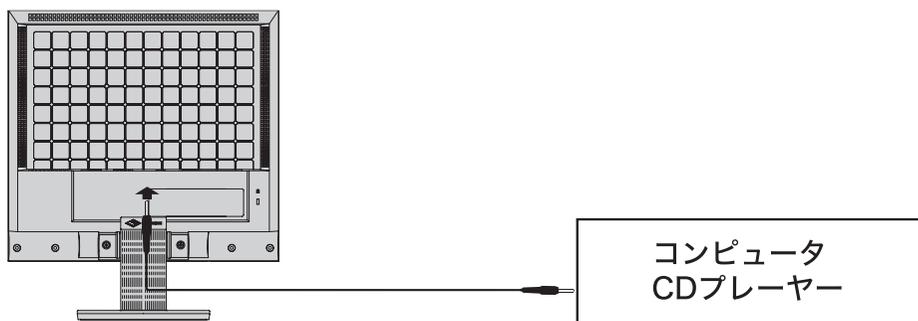
コントロールパネルの入力切替ボタンで切り替えます。押すたびに信号が切り替わります。なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（アナログまたはデジタル）が画面右上に2秒間表示されます。



2-4. スピーカー接続

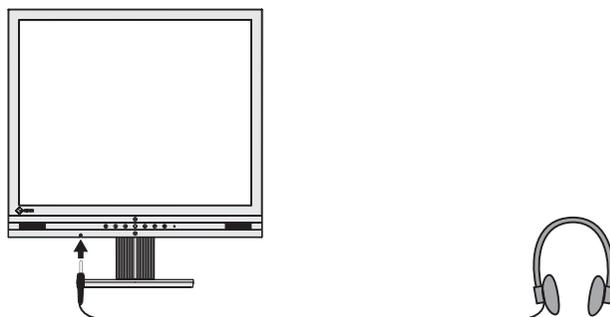
注意点

- モニターを周辺機器（コンピュータ・CDプレーヤーなど）と接続、もしくは接続を解消する場合は、必ずモニターと周辺機器の電源を切ってください。
 - 周辺機器と接続する場合は、付属のステレオミニジャックケーブルを使用してください。
1. モニター背面の音声入力端子にステレオミニジャックケーブルを接続します。
 2. ステレオミニジャックケーブルをコンピュータなどの音声出力端子に接続します。



音声を聴くには

入力された音声はスピーカーまたはヘッドフォンで聴くことができます。
(ヘッドフォンが接続されている場合、スピーカーから音声は出力されません。)
音声は次のように調整してください。



音量調整

音量調整	左右コントロールボタンで調整する。
消音	左右コントロールボタンで音量調整メニューを表示し、上または下ボタンを押す。
消音解除	左右コントロールボタンで音量調整メニューを表示し、左または右のボタンを押す。

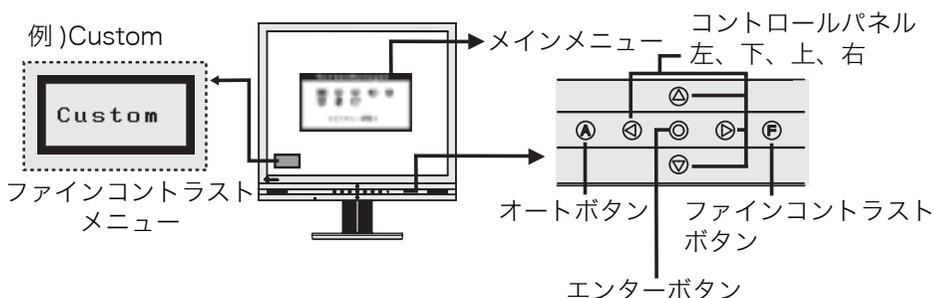
参考

- ScreenManager の <サウンド> メニューを使っても調整できます。

第3章 ScreenManager

3-1. 操作方法

画面調整 / 設定とファインコントラストのモード切り替えが簡単にできます。



注意点

- メインメニューとファインコントラストメニューを同時に表示させることはできません。

1. メニューの表示

コントロールパネルのエンターボタンを押し、メインメニューを表示します。

2. 調整 / 設定

- (1) コントロールボタンで、調整 / 設定したい項目を選択し、エンターボタンを押し、選択した項目のサブメニューを表示します。
- (2) コントロールボタンで、調整 / 設定したい項目を選択し、エンターボタンを押し、選択した項目の調整 / 設定メニューを表示します。
- (3) コントロールボタンで調整 / 設定し、エンターボタンを押し、確定します。

3. 終了

- (1) サブメニューより<リターン>を選択し(下ボタンを2回押すと移動します。)、エンターボタンを押し、メインメニューに戻ります。
- (2) メインメニューより<メニューオフ>を選択し(下ボタンを2回押すと移動します。)、エンターボタンを押し、ScreenManagerを終了します。

参考

- エンターボタンをすばやく続けて2回押しても、ScreenManagerを終了させることができます。

ファインコントラストメニュー

ファインコントラストボタンを押すと、ファインコントラストモードの切り替えができます。(Custom、sRGB、Text、Picture、Movie) エンターボタンを押すと終了します。(p. 20)

3-2. 機能一覧

ScreenManager の調整、および設定項目一覧表です。

「*」はアナログ信号入力のみ、「**」はデジタル信号入力のための機能です。

メインメニュー	サブメニュー	調整 / 設定内容
ピクチャー調整	クロック	* 「4-1. 画面調整」(p. 23) 参照
	フェーズ	*
	ポジション	*
	レンジ調整	*
	スムージング	
カラー (Custom) ※1	ブライトネス	「4-2. カラー調整」(p. 26) 参照
	色温度	
	ガンマ	
	色の濃さ	
	色合い	
	ゲイン	
	リセット	
サウンド	音量	スピーカーの音量を調整する
	消音	スピーカーの音を一時的に消す
PowerManager	DVI DMPM	** 「4-3. 節電設定について」(p. 28) 参照
	VESA DPMS	*
	サウンド	
その他	入力信号	入力信号の自動切り替えを設定する (p. 22 参照)
	オフタイマー	タイマー (使用時間) を設定する (p. 21 参照)
	VGA 選択	* 表示画面を選択設定する (p. 32 参照)
	メニューポジション	ScreenManager 画面位置を移動する
	半透明	ScreenManager の透明度を設定する
	メニューオフタイマー	ScreenManager の表示時間を設定する※2
	リセット	調整 / 設定状態をすべて初期設定に戻す (p. 37 参照)
インフォメーション	インフォメーション	設定状況および機種名、製造番号、モニターの使用時間※3を確認する
言語選択	英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・スウェーデン語・日本語	ScreenManager の言語を選択する

※1 <カラー>メニューで調整 / 設定できる機能はファインコントラストのモードにより異なります。表はCustomモードの場合のサブメニューです。「4-2. カラー調整」(p. 26) 参照

※2 ファインコントラストメニューの表示時間は変更されません。

※3 工場検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

3-3. ファインコントラスト機能

モニターの明るさなどを表示画像に適した設定に変更できます。

ファインコントラストモードを選択する

ファインコントラストボタンを押すと、ファインコントラストメニューが画面左に表示されます。ボタンを押すたびに5つのモードが順に切り替わり表示されます。

終了

エンターボタンを押すと終了します。(ファインコントラストボタンを押して5秒間放置すると自動的に終了します。)



ファインコントラストモードの種類

表示画像に最適な表示モード（5種類）を選択できます。

モード	目的
Custom	好みに応じた色設定
sRGB	インターネット上などで、原画像に基づいた色合いで表示
Text	ワープロや計算ソフトなどの文字画面表示
Picture	写真やイラストなどの静止画を表示
Movie	動画、静止画を明るく表示

ファインコントラストモードのカラー設定を変更する

ScreenManagerの<カラー>メニューでは各モードごとにカラー調整ができます。
(「4-2. カラー調整」(p. 26) 参照)

3-4. 特殊機能

調整ロック機能

一度調整 / 設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	<ul style="list-style-type: none">● ScreenManager による調整 / 設定● オートボタン
ロックされない機能	<ul style="list-style-type: none">● 電源スイッチ● ファインコントラストボタンによる ファインコントラストモードの選択● コントロールボタンによるブライトネス調整● コントロールボタンによる音量調整、消音● 入力切替ボタン

【設定方法】

いったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら電源を入れると、調整ロックがかかり画面が表示されます。

【解除方法】

いったん電源を切ります。その後、オートボタンを押しながら再度電源を入れると、調整ロックが解除され画面が表示されます。

タイマー機能

モニターの使用時間を設定することにより、設定した時間が終了すると自動的にモニターの電源がオフされます。モニターに長時間同じ画像を表示させていると生じる残像現象を軽減するための機能です。一日中同じ画像を表示させておくような場合にご利用ください。

【設定方法】

- (1) ScreenManager <その他>メニューより<オフタイマー>を選択します。
- (2) 「有効」を選択した後、モニターの使用時間（1～23時間）を設定します。

【オフタイマーの流れ】

タイマー	モニターの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	青点灯
設定時間終了15分前	予告時間※1	青点滅
設定時間終了後	電源オフ	消灯

※1 予告期間中にコントロールパネルの電源スイッチを押すと、押した時点から90分延長することができます。延長は回数に制限がなく何度でもできます。

【復帰方法】

電源スイッチを押します。

【注意点】

- 節電モード時でもオフタイマーは機能しますが、予告機能は働きません。予告なしに電源がオフされます。

EIZO ロゴ非表示機能

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが画面中央に表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。(初期設定ではロゴが表示されます。)

【設定方法】

いったん電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、ロゴが表示されなくなります。

【解除方法】

電源を切ります。その後、エンターボタンを押しながら電源を入れると、再びロゴが表示されます。

入力信号の自動切り替え機能

本機は、コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。

2台のコンピュータを接続している場合

いずれかのコンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的にもう一方の信号を表示します。

ScreenManager を使って、自動切り替えを解除することもできます。

【設定方法】

- (1) <その他>メニューの<入力信号>を選択します。
- (2) 「マニュアル」を選択します。

第4章 画面調整 / 設定

デジタル信号入力の場合は、本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。

4-1. 画面調整

液晶モニターの画面の調整とは、使用するシステムに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。快適に使用していただくために、モニターを初めてセットアップしたときや使用しているシステムの設定を変更した場合には、ScreenManager を使用して画面を調整していただくことをおすすめします。

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。（内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。）

調整手順

1. コントロールパネルのオートボタンを押します。

「もう一度オートボタンを押すとオートアジャストが実行されます」のメッセージが5秒間表示されます。メッセージが表示されている間にもう一度オートボタンを押すと、自動調整機能が働き（実行中であることを示すメッセージが表示されます）、クロック、フェーズ、表示位置、解像度が調整されます。

注意点

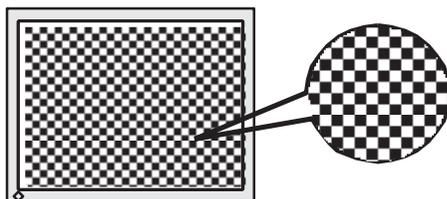
- この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。
DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

オートボタンで調整しきれない場合は以降の手順にしたがって調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順4 (p. 25) にお進みください。

2. 画面に1ドット抜きのパターン（下記参照）などを表示して以下の手順に進んでください。

参考

- 「画面調整用プログラム」を使うとより確実な調整ができます。当社ホームページ (<http://www.eizo.co.jp/>) からダウンロードできます。



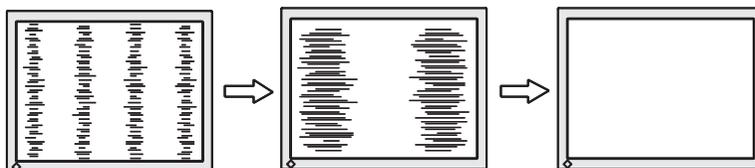
3. ScreenManager の<ピクチャー調整>メニューにより調整します。

(1) 縦縞が出ている場合

→  <クロック> (p. 40) を調整します。

<クロック> を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して縦縞が消えるように調整します。調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。

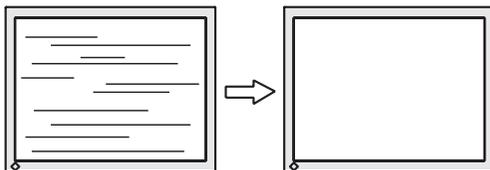
調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「(2) フェーズ調整」にすすみ調整をおこなってください。



(2) ちらついたり、にじむように見える場合

→  <フェーズ> (p. 40) を調整します。

<フェーズ> を選択し、左・右のコントロールボタンを使用して最もちらつきやにじみのない画面に調整します。



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくなるものがあります。

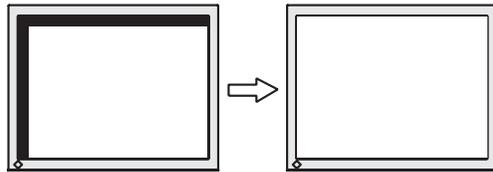
(3) 表示位置がずれている場合

→  <ポジション>を調整します。

液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動させるための調整です。

<ポジション>を選択し、画像がモニターの表示エリアに適切に表示されるように上・下・左・右のコントロールボタンで調整します。

調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「(1)クロック調整」に戻り、再度調整をおこなってください。(クロック→フェーズ→ポジション)



4. 信号の出力レンジ (レンジ調整) を調整します。

→  <ピクチャー調整>メニューの<レンジ調整> (p. 41) で調整します。

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調 (0~255) を表示できるように調整します。

[設定方法]

<ピクチャー調整>メニューより<レンジ調整>の調整メニューを表示させた状態で、コントロールパネルのオートボタンを押します。出力レンジが自動的に調整され、最大の色階調で画像を表示します。

5. 低解像度の画像を表示し、文字や線がぼやけてみえる場合

→  <スムージング>の設定を切り替えます。

<ピクチャー調整>メニューより<スムージング>を選択し、1~5段階 (ソフト~シャープ) から好みに応じて選択します。

注意点

- <スムージング>アイコンは、表示解像度が1280x1024の場合は選択できません。
- 拡大表示をしていますので、ぼやけてみえるものが完全になくなるわけではありません。

4-2. カラー調整

ScreenManager の<カラー>メニューで、ファインコントラストのモードごとに独立した、カラー調整の設定、保存ができます。

アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、まず<レンジ調整> (p. 25) をおこなってください。

調整項目

ファインコントラストモードにより、<カラー>メニューで調整 / 設定できる機能が異なります (表示メニューも異なります)。

○：調整 / 設定可 —：工場にて設定済み

アイコン	機能名	ファインコントラストモード				
		Custom	sRGB	Text	Picture	Movie
	ブライトネス	○	○	○	○	○
	色温度	○	—	○	○	○
	ガンマ	○	—	○	—	—
	色の濃さ	○	—	○	○	○
	色合い	○	—	○	○	○
	ゲイン	○	—	—	—	—
	リセット	○	—	○	○	○

注意点

- 調整はモニターの電源を入れて、20分以上経過してからおこなってください。
(内部の電気部品の動作が安定するのに約20分かかります。)
- <カラー>メニューの<リセット>を選択すると、ファインコントラストで選択しているモードの色調は初期設定 (工場出荷状態) に戻ります。

メニュー	内容	調整範囲
ブライトネス 	画面全体の明るさを好みの状態に調整する。	0～100%
	参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 直接上下のコントロールボタンを押してもブライトネスの調整ができます。 	
色温度 (p. 40) 	色温度を選択する。	4,000K～10,000Kまで500K単位で選択します。(9,300K含む)初期設定は「オフ」(パネル本来の色)です。
	参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「K」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 4,000Kより低く、あるいは10,000Kより高くすると、設定が自動的に「オフ」になります。 	
ガンマ (p. 40) 	ガンマ値を設定する。	1.8～2.6 (0.2ごと)
	参考 <ul style="list-style-type: none"> ● ガンマ機能についてはデジタル信号入力でのご使用をおすすめします。 	
色の濃さ 	色を鮮やかにする。	-128～127 最小値(-128)で白黒の画面となります。
	注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	
色合い 	肌色などを好みの色合いにする。	-32～32
	注意点 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機能を使用することにより、すべての色階調を表示できないことがあります。 	
ゲイン 	赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にする。	0～100% 赤、緑、青のそれぞれの明度を調整することにより、任意の色調を作ります。背景が白またはグレーの画像を表示して調整してください。
	参考 <ul style="list-style-type: none"> ● 「%」表示は調整値の目安としてご利用ください。 ● 本設定は<色温度>(p. 40)の設定をすると無効になります。ゲインの設定は何も調整していない状態に変わります。 	
リセット 	選択しているファインコントラストモードのカラー調整状態をすべて初期状態に戻す。	<リセット>を実行します。

4-3. 節電設定について

ScreenManager の < PowerManager > メニューで節電機能を設定できます。

【注意点】

- 完全な節電のためにはモニターの電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

アナログ信号入力の場合

本機は「VESA DPMS」(p. 41) に準拠しています。

【設定方法】

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) < PowerManager > メニューより、「VESA DPMS」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード	スタンバイ サスペンド オフ	節電モード	黄

【復帰方法】

キーボードまたはマウスを操作します。

デジタル信号入力の場合

本機は「DVI DMPM」(p. 41) に準拠しています。

【設定方法】

- (1) コンピュータの節電機能を設定します。
- (2) < PowerManager > メニューより、「DVI DMPM」を選択します。

【節電の流れ】

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
節電モード		節電モード	黄

【復帰方法】

キーボードまたはマウスを操作します。

スピーカーからの音声も同時に消したい場合

モニターが節電モードに入ったときにスピーカーからの音声出力を消音することができます。

【設定方法】

- (1) モニターの節電機能を設定します。
- (2) <サウンド>を選択します。
- (3) 「無効」を選択します。(音を残したい場合は「有効」を選択します。)

第5章 アーム取付方法

本機はスタンド部分を取り外すことによって、アーム（あるいは別のスタンド）に取り付けることが可能になります。

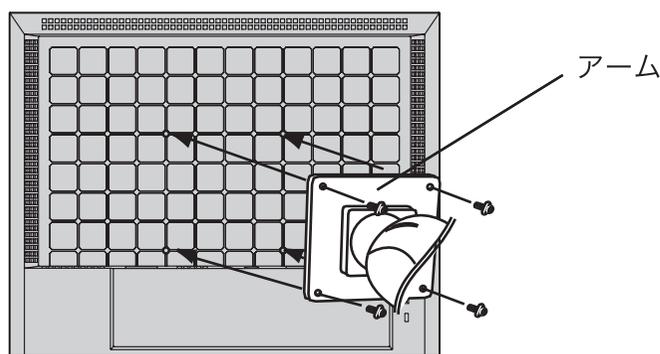
アームまたはスタンドは当社オプション品をご利用ください。

注意点

- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認のうえ、お選びください。
 - 取付部のネジ穴間隔：100mm×100mm（VESA規格準拠）
 - 耐荷重：モニター本体（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総重量に耐えられること
- ケーブル類は、アームを取り付けた後に接続してください。

取付方法

1. 液晶パネル面が傷つかないように、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。
2. スタンド部分を取り外します。（別途ドライバーを準備ください。）
ドライバーを使って、本体部分とスタンドを固定しているネジ（M4×10mm：2箇所）を取り外します。
3. 付属の取り付け用ネジ（M4×12mm）を使って、モニターをアーム（またはスタンド）に取り付けます。



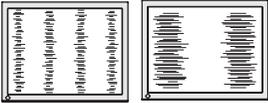
取付用ネジ：M4×12mm：4箇所

第 6 章 故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 → 項目1、2を参照してください。
- 画面に関する症状 → 項目3～11を参照してください。
- その他の症状 → 項目12～14を参照してください。

症状	チェックポイント / 対処方法
1. 画面が表示されない <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ランプが点灯しない ● 電源ランプが点灯：青色 ● 電源ランプが点灯：黄色 	<ul style="list-style-type: none"> □ 電源コードは正しく差し込まれていますか。電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 □ ブライトネスの設定を確認してみてください。 □ 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。 □ マウス、キーボードを操作してみてください。(p. 28)
2. 以下のようなメッセージが表示される <ul style="list-style-type: none"> ● 信号が入力されていない場合の表示です。(この表示は約40秒間表示されます。) <div data-bbox="275 1089 526 1222" data-label="Image"> <p>入力信号チェック</p> <p>アナログ</p> <p>信号無し</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) 例： <div data-bbox="275 1489 526 1622" data-label="Image"> <p>入力信号エラー</p> <p>デジタル</p> <p>FB: 135.0MHz</p> <p>FW: 80.0kHz</p> <p>FV: 75.0Hz</p> </div>	<p>この表示はモニターが正常に機能しているも、信号が正しく入力されないときに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 □ コンピュータの電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 □ 入力切替ボタンで入力信号を切り替えてみてください。 □ グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント / 対処方法
3. 画像がずれている 	<input type="checkbox"/> <ポジション> (p. 25) で調整してみてください。 <input type="checkbox"/> <VGA 選択>にて入力されている信号の解像度 (「720x400」あるいは「320x200」) を選択し、表示画面を適正な位置に表示します。(この機能は解像度が720x400あるいは320x200のときのみ有効です。) <input type="checkbox"/> ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている 	<input type="checkbox"/> <クロック> (p. 24) で調整してみてください。
5. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	<input type="checkbox"/> <フェーズ> (p. 24) で調整してみてください。
6. 文字がぼやけて見える	<input type="checkbox"/> <スムージング> (p. 25) で調整してみてください。
7. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	<input type="checkbox"/> <ブライトネス>を調整してください。(LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。)
8. 残像が現れる	<input type="checkbox"/> 長時間同じ画像を表示する場合に、スクリーンセーバーを設定したり、タイマー機能 (p. 21) を活用していますか。 <input type="checkbox"/> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。
9. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	<input type="checkbox"/> これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
10. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押しただと消えない	<input type="checkbox"/> 画面全体に白い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
11. ScreenManager において、<ピクチャー調整>の<スムージング>アイコンが選択できない	<input type="checkbox"/> 以下の解像度においては選択できません。1280×1024の場合
12. ScreenManager が起動できない	<input type="checkbox"/> 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(解除方法) (p. 21)

症状	チェックポイント / 対処方法
13. オートボタンが正しく動作しない	<ul style="list-style-type: none"> □ オートボタンはデジタル信号入力時には動作しません。 □ 調整ロックが機能していないか確認してみてください。(解除方法) (p. 21) □ この機能は Macintosh や Windows など画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。 DOSプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
14. 音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> □ ステレオミニジャックケーブルが正しく差し込まれていますか。 □ <音量>が「0」になっていませんか。 □ <消音>が「オン」になっていませんか。 □ コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。

第7章 お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナーなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。
(使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。)

液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

第 8 章 仕様

M1700/M1700-R/M1700C/M1700C-R

液晶パネル	M1700 M1700-R	43cm (17.0) 型カラー TFT、アンチグレア 視野角：上下155°、左右170° (CR≥5)
	M1700C M1700C-R	43cm (17.0) 型カラー TFT、光沢パネル 視野角：上下155°、左右170° (CR≥5)
ドットピッチ		0.264mm
水平走査周波数		アナログ信号入力時 24.8~80kHz (自動追従) デジタル信号入力時 31~64kHz
垂直走査周波数		アナログ信号入力時 50~75.1Hz (自動追従) デジタル信号入力時 59~61Hz (VGA TEXT時 69~71Hz)
解像度		1280ドット×1024ライン
ドットクロック (最大)		アナログ信号入力時 135MHz デジタル信号入力時 108MHz
最大表示色		1619万色
表示サイズ (水平×垂直)		337.9mm×270.3mm
電源		100VAC±10%、50/60Hz、0.7A
消費電力		最大：45W 最小 (通常)：40W (スピーカーなし) 節電モード：2W以下 (1系統入力時) 電源スイッチオフ時：1W 以下
信号入力コネクタ		D-SUB15 (ミニ) コネクタ、DVI-Dコネクタ
アナログ信号 入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
アナログ信号 入力映像信号		アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)
デジタル信号伝送方式		TMDS (Single Link)
ビデオ信号メモリー		45種 (プリセットアナログ22種)
プラグ&プレイ機能		VESA DDC 2B
アンプ出力 (最大)		1W+1W
ライン入力		入力インピーダンス：47kΩ (標準) 入力感度：500mV
ヘッドフォン出力レベル		6mW+6mW (アンプ出力1W+1W時)
寸法 (本体)		368mm (幅) × 375~425mm (高さ) × 198mm (奥行き)
寸法 (スタンドなし)		368mm (幅) × 343mm (高さ) × 52mm (奥行き)
重量 (本体)		5.5kg
重量 (スタンドなし)		4.1kg
環境条件		動作温度範囲：0°C~35°C、 輸送および保存温度範囲：-20°C~60°C、 相対湿度範囲：30%~80% R.H. (非結露状態)

M1900/M1900-R/M1900C/M1900C-R

液晶パネル	M1900 M1900-R	48cm (19.0) 型カラー TFT、アンチグレア 視野角：上下155°、左右170° (CR≥5)
	M1900C M1900C-R	48cm (19.0) 型カラー TFT、光沢パネル 視野角：上下155°、左右170° (CR≥5)
ドットピッチ	0.294mm	
水平走査周波数	アナログ信号入力時 24.8~80kHz (自動追従) デジタル信号入力時 31~64kHz	
垂直走査周波数	アナログ信号入力時 50~75.1Hz (自動追従) デジタル信号入力時 59~61Hz (VGA TEXT時 69~71Hz)	
解像度	1280ドット×1024ライン	
ドットクロック (最大)	アナログ信号入力時 135MHz デジタル信号入力時 108MHz	
最大表示色	1677万色	
表示サイズ (水平×垂直)	376.3mm×301.0mm	
電源	100VAC±10%、50/60Hz、0.8A	
消費電力	最大：50W 最小 (通常)：45W (スピーカーなし) 節電モード：2W以下 (1系統入力時) 電源スイッチオフ時：1W 以下	
信号入力コネクタ	D-SUB15 (ミニ) コネクタ、DVI-Dコネクタ	
アナログ信号 入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性	
アナログ信号 入力映像信号	アナログ、正極性 (0.7Vp-p/75Ω)	
デジタル信号伝送方式	TMDS (Single Link)	
ビデオ信号メモリー	45種 (プリセットアナログ22種)	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC 2B	
アンプ出力 (最大)	1W+1W	
ライン入力	入力インピーダンス：47kΩ (標準) 入力感度：500mV	
ヘッドフォン出力レベル	6mW+6mW (アンプ出力1W+1W時)	
寸法 (本体)	415mm (幅) ×406~456mm (高さ) ×216mm (奥行き)	
寸法 (スタンドなし)	415mm (幅) ×374mm (高さ) ×54mm (奥行き)	
重量 (本体)	6.3kg	
重量 (スタンドなし)	4.8kg	
環境条件	動作温度範囲：0°C~35°C、 輸送および保存温度範囲：-20°C~60°C、 相対湿度範囲：30%~80% R.H. (非結露状態)	

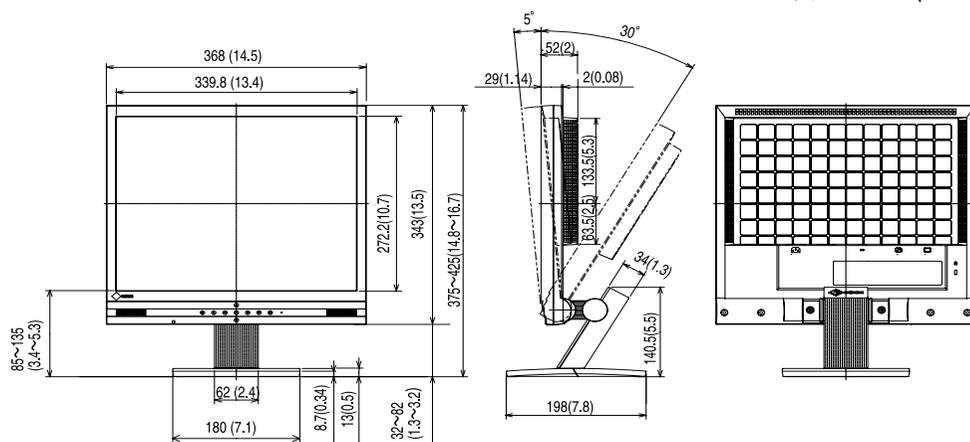
■ 主な初期設定（工場出荷設定）値

	アナログ信号入力時	デジタル信号入力時
ブライトネス	100%	100%
スムージング	3	
ファインコントラストモード	Custom	
PowerManager	VESA DPMS	DVI DMPM
入力信号	オート	
オフタイマー	無効	
言語選択	日本語	

■ 外観寸法

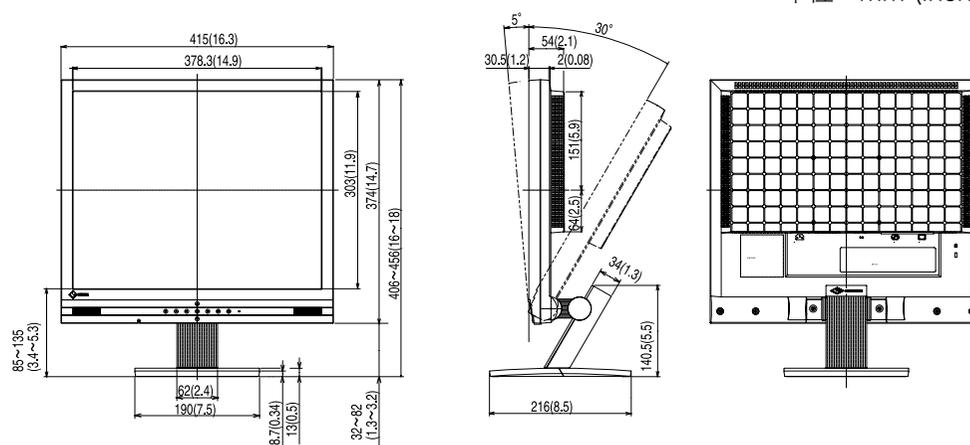
M1700/M1700-R/M1700C/M1700C-R

単位：mm (inch)



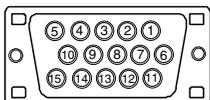
M1900/M1900-R/M1900C/M1900C-R

単位：mm (inch)



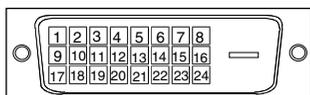
■ 入力信号接続

D-Sub15 (ミニ) コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	(10ピンとショート)
2	緑	7	緑グランド	12	データ (SDA)
3	青	8	青グランド	13	水平同期
4	グランド	9	/	14	垂直同期
5	/	10	グランド	15	クロック (SCL)

DVI-D コネクタ



ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号	ピン No.	入力信号
1	TMDS Data 2-	9	TMDS Data 1-	17	TMDS Data 0-
2	TMDS Data 2+	10	TMDS Data 1+	18	TMDS Data 0+
3	TMDS Data 2/4 Shield	11	TMDS Data 1/3 Shield	19	TMDS Data 0/5 Shield
4	NC*	12	NC*	20	NC*
5	NC*	13	NC*	21	NC*
6	DDC Clock (SCL)	14	+5V Power	22	TMDS Clock Shield
7	DDC Data (SDA)	15	Ground (For +5V)	23	TMDS Clock+
8	NC	16	Hot Plug Detect	24	TMDS Clock-

(*NC: No Connection)

第9章 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。

5000K: やや赤みがかった白色

6500K: 暖色で紙色に近い白色

9300K: やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1280 個、縦 1024 個、の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280 × 1024 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度に変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィクスシステムのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン調整

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の3原色であり、画面上に表示されるすべての色は3色の組み合わせによって構成されます。3色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのこと。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI (Digital Visual Interface)

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM (DVI Digital Monitor Power Management)

デジタルインターフェースの節電機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON (オペレーションモード) と Active Off (節電モード) が必須となっています。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間 (モニター、プリンター、デジカメ、スキャナーなど) の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS (Transition Minimized Differential Signaling)

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPMS (Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling)

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ (グラフィックスボード) 側からの信号の標準化をおこなっています。DPMSはコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

第 10 章 付録

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです。

表示モード	ドットクロック		極性	周波数
	MHz			水平 : kHz、垂直 : Hz
VGA Graphic 320×200	25.2 MHz	水平	負	31.5
		垂直	正	70.1
VGA 640×480	25.2 MHz	水平	負	31.5
		垂直	負	60.0
VGA 720×400	28.3 MHz	水平	負	31.5
		垂直	正	70.1
Macintosh 640×480	30.2 MHz	水平	負	35.0
		垂直	負	66.7
Macintosh 832×624	57.3 MHz	水平	正	49.7
		垂直	正	74.6
Macintosh 1152×870	100.0 MHz	水平	負	68.7
		垂直	負	75.1
Macintosh 1280×960	126.2 MHz	水平	正	74.8
		垂直	正	74.8
PC-9801 640×400	21.1 MHz	水平	負	24.8
		垂直	負	56.4
PC-9821 640×400	25.2 MHz	水平	負	31.5
		垂直	負	70.1
VESA 640×480	31.5 MHz	水平	負	37.9
		垂直	負	72.8
VESA 640×480	31.5 MHz	水平	負	37.5
		垂直	負	75.0
VESA 800×600	36.0 MHz	水平	正	35.2
		垂直	正	56.3
VESA 800×600	40.0 MHz	水平	正	37.9
		垂直	正	60.3
VESA 800×600	50.0 MHz	水平	正	48.1
		垂直	正	72.2
VESA 800×600	49.5 MHz	水平	正	46.9
		垂直	正	75.0

表示モード	ドットクロック		極性	周波数
	MHz			水平：kHz、垂直：Hz
VESA 1024×768	65.0 MHz	水平	負	48.4
		垂直	負	60.0
VESA 1024×768	75.0 MHz	水平	負	56.5
		垂直	負	70.1
VESA 1024×768	78.8 MHz	水平	正	60.0
		垂直	正	75.0
VESA 1152×864	108.0 MHz	水平	正	67.5
		垂直	正	75.0
VESA 1280×960	108.0 MHz	水平	正	60.0
		垂直	正	60.0
VESA 1280×1024	108.0 MHz	水平	正	64.0
		垂直	正	60.0
VESA 1280×1024	135.0 MHz	水平	正	80.0
		垂直	正	75.0

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置等がずれ、ScreenManager で画面の調整が必要になる場合があります。
- 上記以外の信号を入力した場合は、ScreenManagerで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、ScreenManager で調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

注 :

英文がTCO発行による原文です。日本語訳に際しては、原文にできる限り忠実に翻訳をおこないましたが、訳文は原文をご理解いただくための参考としてご利用ください。



Congratulations!

The display you have just purchased carries the TCO'03 Displays label. This means that your display is designed, manufactured and tested according to some of the strictest quality and environmental requirements in the world. This makes for a high performance product, designed with the user in focus that also minimizes the impact on our natural environment.

Some of the features of the TCO'03 Display requirements:

Ergonomics

- Good visual ergonomics and image quality in order to improve the working environment for the user and to reduce sight and strain problems. Important parameters are luminance, contrast, resolution, reflectance, colour rendition and image stability.

Energy

- Energy-saving mode after a certain time - beneficial both for the user and environment
- Electrical safety

Emissions

- Electromagnetic fields
- Noise emissions

Ecology

- The products must be prepared for recycling and the manufacturer must have a certified environmental management system such as EMAS or ISO 14000

Restrictions on

- chlorinated and brominated flame retardants and polymers
- heavy metals such as cadmium, mercury and lead.

The requirements included in this label have been developed by TCO Development in co-operation with scientists, experts, users as well as manufacturers all over the world. Since the end of the 1980s TCO has been involved in influencing the development of IT equipment in a more user-friendly direction. Our labeling system with displays in 1992 and is now requested by users and IT-manufacturers all over the world.

For more information, please visit

www.tcodevelopment.com



このたびお求めのディスプレイには、TCO'03 ラベルが貼り付けられています。これはこのディスプレイが世界でも最も厳しい、いくつかの品質・環境要求に従って開発され、製造されたものであることを示しています。TCO'03 ラベルは、ユーザー主体の高性能な製品の開発や、自然環境への影響を最小限に抑制するために役立っています。

TCO'03 ディスプレイにはいくつかの要求事項があります。

エルゴノミクス

ユーザーの作業環境を改善し、視覚や疲労の問題を軽減するために、優れたビジュアルエルゴノミクスと画像品質が求められます。輝度、コントラスト、解像度、反射率、演色性、画像の安定性といった項目が重要な要素となります。

エネルギー

一定時間経過後に節電モードに移行することが求められます。これはユーザーおよび環境の双方に有益な要求です。電気的安全性についても求められています。

エミッション

電磁界やノイズの発生に対する要求事項があります。

エコロジー

TCO'03 製品は、リサイクルシステムを整備しなければなりません。また製造者は EMAS や ISO 14000 といった環境マネジメントシステムの認証を受けなければなりません。塩素系または臭素系難燃剤および高分子化合物の、製品への使用が規制されています。またカドミウム、水銀、鉛などの重金属についても使用が規制されています。

TCO'03 の要求事項は、製造者に加えて世界中の科学者、専門家、ユーザーの協力のもとに TCO Development によって監修されています。1980 年後半より、TCO はユーザーフレンドリーな IT 機器の開発に影響を及ぼすべく関与してきました。ディスプレイ分野における TCO ラベリングシステムは 1992 年より始まりました。現在では世界中のユーザーや IT 企業に求められているシステムです。

さらに詳しい情報は www.tcodevelopment.com を参照してください。



このたび TCO'99 認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私も TCO'99 にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょうか？

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足いく方法でリサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまいます。

この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境（内的）と自然環境（外的）という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響（例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など）をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょうか？

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供する TCO'99 の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO（スウェーデン労働者組合）、Svenska Naturskyddsfoeningen（スウェーデン環境保護団体）、Statens Energimyndighet（スウェーデンエネルギー局）による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界放射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。

TCO'99 は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC（フロン）、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にはそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス（身体面および視覚面）、有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛にて要求することができます。

- TCO Development Unit
S-114 94 Stockholm, Sweden
Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet) : development@tco.se

TCO'99 の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。

- <http://www.tcodevelopment.com/>

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの 30% までが、難燃物質によってできています。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCB とも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤と PCB は、生体蓄積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。

TCO'99 は 25g 以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないためは認められています。

カドミウム**

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

TCO'99 は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

TCO'99 は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求しています。

CFC（フロン）

TCO'99 は CFC ならびに HCFC を製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC（フロン）はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFC はオゾン層を分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん（悪性黒色腫）になる危険性などが高まります。

鉛**

鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると鉛中毒を引き起こします。

鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99 は鉛の含有を認めています。

* 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。

** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

アフターサービス

本製品のアフターサービスに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より5年間かつ製品使用時間が30,000時間以内です。また、液晶パネルおよびバックライトの保証期間は、お買い上げの日より3年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低7年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている8けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ/グラフィックスボード/OS・システムのバージョン/表示解像度等）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、セレン、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しく下さい。

法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用后産業廃棄物として廃棄される場合、お客様の費用負担でお引取りいたします。詳細については下記までお問い合わせください。

【エイゾーサポートネットワーク株式会社】

電話での問合せ受付	FAXでの問合せ受付
076-274-7369（専用）	076-274-2416
月曜日～金曜日 （祝祭日及び弊社休日をのぞく） 9：30～17：30	24時間受付 但し、回答は営業時間帯 （電話受付時間帯と同じ）

個人のお客様

本製品を家庭から一般廃棄物として廃棄される場合の詳細については情報機器リサイクルセンターまでお問い合わせください。

【情報機器リサイクルセンター】

電話での問合せ受付	インターネットでの問合せ受付
03-3455-6107	http://www.pc-eco.jp
月曜日～金曜日 （祝日及び年末年始をのぞく） 9：00～17：00	



M1700-R/M1700C-R/M1900-R/M1900C-R については、このマークが製品本体の（背面）に表示されている弊社製品については、お客様に料金を負担いただくことなく、弊社が回収し再資源化いたします。詳細については、弊社ホームページ (<http://www.eizo.co.jp>) をご参照ください。

- 廃棄およびリサイクルの情報については、弊社のホームページ (<http://www.eizo.co.jp>) もあわせてご覧ください。

■製品に関するお問い合わせ先

EIZOコンタクトセンター 0120-956-812

受付時間：月～金 9：30～18：00（祝祭日、弊社休業日を除く）

■故障／修理に関するお問い合わせ先

エイゾーサポート仙台

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-3-22 仙台ビルディング1号館
TEL(022)212-8750 FAX(022)212-8758

エイゾーサポート東京

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1
東京流通センター 物流ビル B棟4F BW4-1
TEL(03)5767-7726 FAX(03)5767-7727

エイゾーサポート名古屋

〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦第一生命ビル
TEL(052)232-0151 FAX(052)232-7705

エイゾーサポート北陸

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地
TEL(076)274-6260 FAX(076)274-2416

エイゾーサポート大阪

〒660-0862 尼崎市開明町2-11 神鋼建設ビル
TEL(06)6414-3770 FAX(06)6414-3771

エイゾーサポート福岡

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
TEL(092)762-2170 FAX(092)715-7781

営業時間：月～金 9：30～17：30（祝祭日及び弊社休業日を除く）



株式会社ナナオ

〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

<http://www.eizo.co.jp/>



環境保護のため、再生紙を使用しています。

第4版 2005年11月 Printed in Japan.

00NOL117D1
(M1700-J)